

市長へ農業施策に関する意見書提出



角田市農業委員会（遠藤裕一会長）は3月28日、黒須貫市長へ農業施策に関する意見書を提出した。

市から黒須市長、堀米農林振興課長の2人、市農業委員会から遠藤会長、阿部職務代理者ら4人が出席した。

角田市では以前から市長と農業委員・農地利用最適化推進委員による農政懇談会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により懇談会が開催できず、今回は、意見書の提出を行った。

遠藤会長から「市では米価下落などによる農業産出額や農家戸数の減少、農業従事者の高齢化や遊休農地の増加が顕著となっている。担い手の確保・育成や農業所得の向上が喫緊の課題だ。農業委員会は農地を守り、担い手への農地利用集積など農地等利用の最適化推進に鋭意取り組んでいる」と述べ、市農業の5ヶ年計画の策定及び新規就農者の獲得についての意見書を黒須市長に手渡した。

黒須市長は「農業に関する計画は市の最上位計画である第6次長期総合計画の中に掲げている。新規就農者の獲得・育成にも積極的に取り組んでいく」と応じた。